

# 令和5年度 事業報告書

自 令和5年 4月 1日  
至 令和6年 3月31日

社会福祉法人 日高川町社会福祉協議会

## ■法人の基盤整備・強化

### 1. 各事務所における職員の連携と情報共有等（ミーティングの実施）

毎週月曜日に川辺事務所で会長も同席し、職員によるミーティングを行い、情報共有や事業にかかると事項（コンプライアンス、リスクマネジメント等含め）などを協議した。

### 2. 理事会

会長に林保行氏が、副会長には西玲子氏と杉谷茂樹氏が就任。

理事会は意思決定機関として、事業経営ならびに法人役員としての責務を果たしながら、本会が抱える様々な課題を協議検討した。

回数 日時	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
第1回 6月8日	理事(11/12) 監事(1/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件</li> <li>○ 令和4年度監事監査報告</li> <li>○ 次期理事・監事候補者の提案に関する件</li> <li>○ 令和4年度社会福祉法人日高川町社会福祉協議会定時評議委員会の招集に関する件</li> <li>○ 評議員の補欠選任候補者の推薦に関する件</li> <li>○ 職員給与規程及び非常勤ホームヘルパー就業規則の一部改正に関する件</li> <li>○ 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」の締結の応募に関する報告</li> <li>○ 会長の職務執行状況の報告</li> </ul>
第2回 6月23日	理事(11/12) 監事(2/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会長・副会長の選定について</li> </ul>
第3回 11月20日	理事(8/12) 監事(2/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業実施に関する報告</li> <li>○ 今後の事業に関する報告</li> <li>○ 理事の欠員に関する報告</li> <li>○ 中津事務所の移転に関する報告</li> <li>○ 令和7年度新規職員採用に関する件</li> <li>○ 債権回収不能処理に関する件</li> <li>○ 会長の職務執行状況の報告</li> </ul>
第4回 3月18日	理事(10/12) 監事(2/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度一般会計補正予算(案)に関する件</li> <li>○ 定款の一部変更に関する件</li> <li>○ 令和6年度事業計画(案)に関する件</li> <li>○ 令和6年度一般会計予算(案)に関する件</li> <li>○ 理事の補欠選任候補者の提案に関する件</li> <li>○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会生活資金貸付制度に関する規程の廃止及び緊急小口資金貸付規程(案)『新設』に関する件</li> <li>○ 令和5年度第2回評議員会の招集に関する件</li> <li>○ 評議員の補欠選任候補者の推薦に関する件</li> <li>○ 債権回収不能処理に関する件</li> <li>○ 会長の職務執行状況の報告</li> </ul>

### 3. 監事会（決算監査及び定期監査）

監事は、決算監査において令和4年度の事業及び会計監査を実施し、指摘事項を会長及び事務局に告知。同時に監査報告書を作成した上で理事会、評議員会で報告。また、理事の業務執行状況を監査する立場から、全ての理事会に出席し意見を述べた。加えて3か月ごとに実施する定期監査も計4回実施し、その都度預貯金通帳並びに会計諸帳簿の現認確認を行った。なお、定期監査時に会長・副会長の三役も同席し会長及び事務局に口頭にて指摘事項等を告げた。

回数 日時	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
定期(1回) 4月28日	2 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年1月から3月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和5年3月31日付け残高を確認</li> <li>○ 地域福祉推進委員会総会・セミナー、アルミ缶収益金寄贈、役員研修等の報告</li> <li>○ 理事会・評議員会の質問事項について</li> <li>○ 今後の予定</li> </ul>
決算監査 6月1日	2 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度の法人運営や事業の執行状況、また会計における決算報告などを行う理事会・評議員会前の監査として実施</li> <li>○ 主として各種会計諸帳簿ならびに保有する普通・定期預貯金等全般についての監査を実施</li> </ul>
定期(2回) 7月27日	2 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年4月から6月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和5年6月30日付け残高を確認</li> <li>○ 福祉委員会、ボランティア研修、海南市災害ボランティアセンターへの支援活動報告、登録ヘルパーの採用・退職等の報告</li> <li>○ 福祉委員会質問事項等について協議、今後の予定</li> </ul>
定期(3回) 10月26日	2 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年7月から9月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和5年9月30日付け残高を確認</li> <li>○ サマーボランティアスクール、支え合いのまちづくりフォーラム、バザー実行委員会、県社会福祉功労者表彰受賞、24時間テレビ入浴車寄贈内定等の報告</li> <li>○ 会員募集、令和7年度新規職員採用について協議、今後の予定</li> </ul>
定期(4回) 1月25日	2 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年10月から12月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和5年12月31日付け残高を確認</li> <li>○ ふれあい広場、サロン代表者会議、生活支援フォーラムその後、福祉バザー等について報告</li> <li>○ 身寄りのない老夫婦の支援について、公正証書預かり、中津事務所移転、老人クラブ事務局について報告</li> <li>○ 独自資金貸付者の回収困難ケースについて協議、今後の予定</li> </ul>

#### 4. 評議員会

回数 日時	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
第1回 6月23日	11 / 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件</li> <li>○ 令和4年度監事監査報告</li> <li>○ 内田廣氏・豊嶋英雄氏・丸山初美氏・石田豊彦氏・小早川幸信氏・熊谷重美氏・林保行氏・児玉宗明氏・西玲子氏・杉谷茂樹氏・柏木昌子氏・幡川芳恵氏を理事として選任する件</li> <li>○ 中本久美子氏・高尾和宏氏を監事として選任する件</li> </ul>
第2回 3月29日	14 / 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度一般会計補正予算(案)に関する件</li> <li>○ 定款の一部変更に関する件</li> <li>○ 令和6年度事業計画(案)に関する件</li> <li>○ 令和6年度一般会計予算(案)に関する件</li> <li>○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会生活資金貸付制度に関する規程の廃止及び緊急小口資金貸付規程(案)『新設』に関する件</li> <li>○ 藏道悦男氏を理事として選任する件</li> <li>○ 債権回収不能処理に関する報告</li> </ul>

#### 5. 住民会員制度 (会員募集)

区 分	令和5年度		令和4年度	
	加入数	金 額	加入数	金 額
一般会員	2,844名	2,824,000円	2,774名	2,784,000円
特別会員	13名	54,000円	17名	62,000円
施設・団体会員	25団体	235,000円	24団体	230,000円
合 計		3,113,000円		3,076,000円

○一般・特別会員加入率 約 75% (令和4年 72.3%)  
 (加入世帯 2,857世帯 令和6年3月末日高川町世帯数 3,808世帯)

○福祉委員総数 249名 (川辺 152名、中津 41名、美山 56名)  
 (民生児童委員・主任児童委員54名含む)

○福祉委員会議の開催 [3地区]

川辺・中津・美山の3地区ごとで福祉委員会を開催した。7～8月にかけて福祉委員の皆様方にご協力をいただき各戸への会員募集を実施した。

〈福祉委員会〉

川辺地区	7月5日	農改センター	福祉委員91名
中津地区	7月6日	日高川交流センター	福祉委員24名
美山地区	7月4日	山開センター	福祉委員18名

会議内容：①令和5年度社会福祉協議会事業計画  
 ②福祉委員活動について  
 ③会員(会費)募集について

## 地域福祉活動推進部門

### 1. 企画・広報事業

- (1) 町社協だよりの発行  
 区長のご協力を頂き町内に全戸配布した。  
 住民の福祉への理解促進のため毎月発行し、社協活動の見える化にも努めている。
- (2) ホームページの運用  
 ホームページにおいて、社協の法人運営の取り組み、事業の紹介や地域の福祉に関する情報を随時掲載した。
- (3) その他の情報発信等  
 必要に応じ地方新聞社2社に取材依頼や記事の掲載を依頼した。また、善意銀行預託者のご芳名の掲載もしていただいた。(紀州新聞社・日高新報社)

### 2. 配食サービス（ふれあいっこり弁当）

在宅高齢者の生活の支援と生活の質の向上を図るとともに、一人暮らし等高齢者世帯の安否確認を行い高齢者福祉の向上を進めることを目的として毎月3回～5回実施。ボランティア、民生児童委員、福祉委員の協力で、昼食または夕食のお弁当を作り配達を行った。

※年間の調理数等の実績は次のとおり

	日高川町			
		川辺地区	中津地区	美山地区
利用者数	75名	26名	12名	37名
配食数	3,734食	1,297食	703食	1,734食
調理ボランティア（実数）	86名	23名	41名	22名
（延べ）	692名	174名	250名	268名
配達ボランティア（実数）	49名	29名	11名	9名
（延べ）	1,083名	300名	468名	315名

◇4年ぶりに、ボランティア研修を3地区に分けて実施した。行先は、上富田町であじさい園を巡り、白浜で昼食をとった。

	川 辺	中 津	美 山
開催日：	6月22日	6月26日	6月27日
参加人数：	22名	20名	16名

### 3. 外出支援サービス（移送サービス）

一般の交通機関を利用するのが困難な、高齢者や重度身体障がい者の方に対して病院等へ送迎するサービスである。公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がい者にとって非常に有用であった。

車の運転は職員や運転ボランティアが対応した。なお、利用については、登録制としており年会費6,000円の負担を頂いている。

	日高川町				
		川辺地区	中津地区	美山地区	
登録者数	18名	5名	8名	5名	
利用回数	209回	84回	64回	61回	
目的	通院等	204回	84回	59回	61回
	買い物	3回	0回	3回	0回
	手続き	0回	0回	0回	0回
	その他	2回	0回	2回	0回
運転ボランティア	3名	1名	1名	1名	
介助ボランティア	0名	0名	0名	0名	

#### 4. 福祉車輛貸出サービス

介護を必要とする高齢者や身体障がい児者の方で、車椅子ごと乗れる車を必要とする家族に社協所有の福祉車輛を貸出した。入退院や通院、行事参加、生活を営むための買い物など日常生活の利便性を図ることを目的に実施した。利用料は燃料費のみの負担である。

○ 貸出回数 10回 (川辺2回 中津7回 美山1回)

#### 5. ふれあいいいききサロン

5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、地域のいきいきサロン活動も徐々に再開した。希望される地域には当会から出向き、出張サロンも行った。

○高齢者サロン ( )内は前年度比較

	日高川町			
	川辺地区	中津地区	美山地区	
グループ数	29ヶ所	7 (±0)	12 (+1)	10 (+3)
開催回数 (延べ)	129回 (+81)	54回	13回	62回
参加人数	1,266名 (+702)	639名	108名	519名
出張サロン	1回 ※李・愛川地区			11名

○子育てサロン ( )内は前年度比較

	日高川町			
	川辺地区	中津地区	美山地区	
グループ数	1ヶ所	1 (±0)		
開催回数 (延べ)	7回 (+1)	7回		
参加人数	41名 (-8)	41名		

#### 6. 喫茶サロン

喫茶サロンはボランティア運営により、年代や性別を問わず、地域の住民の誰もが気軽に立ち寄れる「場」としてさまざまな人が参加でき、地域コミュニティとつながる「きっかけづくり」ができる場である。5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各喫茶サロン共に定期開催となった。

喫茶サロン名	地区	場所	開催回数	備考
はな広場	三佐	旧たちばな保育所	7回	平成16年3月～
ふたば	和佐	和佐児童館	6回	平成18年10月～
そうがわ茶屋	寒川	さかゑや	12回	平成22年6月～

#### 7. 認知症カフェ (ひだまりカフェ)

令和元年12月から地域包括支援センターとの共催で実施している。認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として徐々に定着しつつある。認知症に関するミニ講座や予防体操、ゲストを迎えてのイベント等趣向を凝らしている。

認知症の人とその家族を地域で支えるための関係づくりの拠点として、認知症の人とその介護をする家族、地域住民、介護・医療の専門職の人などが自由に集える場として、悩み相談や情報交換、情報共有などをすることで認知症や介護についての予防や理解を深めることのできるカフェとしていきたい。

※開催日は毎月第3火曜日

回数	日時	場所	参加人数	備考
第1回	4月18日	美山地区 山村開発センター	10名	
第2回	5月16日	全域 防災センター	21名	
第3回	6月20日	中津地区 日高川交流センター	20名	
第4回	7月25日	川辺地区 保健センター	26名	
第5回	8月22日	中津地区 日高川交流センター	27名	
第6回	9月19日	美山地区 山村開発センター	27名	
第7回	10月17日	川辺地区 保健センター	18名	
第8回	11月21日	美山地区 山村開発センター	34名	
第9回	12月19日	中津地区 日高川交流センター	27名	
第10回	1月23日	川辺地区 保健センター	30名	
第11回	2月20日	美山地区 山村開発センター	27名	
第12回	3月19日	中津地区 健康管理センター	27名	
計			294名	

## 8. ふれあい広場（ひとり暮らし高齢者の集い）

概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、社会参加や外出機会を促進し、対象者同士の親睦を深め、地域とのつながりをつくることを目的に実施してきた。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から中止していたが4年ぶりの実施となった。

	川辺地区	中津地区	美山地区
開催日	11月9日（木）	11月13日（月）	11月17日（金）
行先	紀三井寺・海南	湯浅・海南	マリーナシティ・海南
参加人数	23名	24名	38名

## 9. 保育所との協働事業（絵手紙・メッセージ作成）

園児と高齢者の世代間交流を目的に、園児の書いた絵手紙や折り紙でメッセージを作成してもらい、配食サービスのお弁当に添えた。今年度も、かわべ保育所・なかつ保育所の園児のみなさんにご協力頂いた。

## 10. 福祉体験学習

○福祉体験・車いす体験学習

町内の小中学校から車いす体験学習等の依頼があり、当会より職員を派遣した。

「車いす体験を通して、障がいのある人や介助する人の置かれている状況について理解を深める」ことを目的として実施した。児童や生徒が車いすに乗って段差などを体験したり、車いすの介助をすることで、車いす利用者がどのようなところで苦労されているかを実際に体験してもらった。また、車いすバスケット用の車いすを使用してのバスケットボールも体験してもらった。

- ▷日 時： 6月12日（月）                      10月30日（月）
- ▷場 所： 丹生中学校                              和佐小学校
- ▷参加者： 1年生 25名                              5・6年19名

## ○子ども福祉川柳募集

町内の小学校6年生を対象に「子ども福祉川柳」の募集を実施した。

子供たちにも福祉のことを少しでも考えて行動してもらうことをねらいに、学校のご協力を頂き、福祉に関する内容の川柳を募集した。参加賞として、500円分の図書カードをお渡しした。応募いただいた作品はホームページにも公表している。

▷参加者 75名

## ○サマーボランティアスクール

今年度は7月から8月の夏休み期間中、中学生を参加対象に、福祉・ボランティアへの理解を深める事を目的としてサマーボランティアスクールを開催した。

町内の各施設や各事業所等にご協力を頂き、体験学習に取り組んでもらった。

▷参加者 13名

(内訳) かわべ学童クラブ：3名      わさ学童クラブ：3名      なかつ学童クラブ：1名  
かわべ保育所：5名      社協：1名

## 11. ボランティアセンターの運営等

ボランティアセンターは誰もが気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点として、より多くの皆さまにボランティア活動に関わっていただけるように、活動先や活動に関する情報の提供などを行った。

### ○ボランティア数

▷ボランティアグループ数 登録14グループ（川辺8、中津1、美山5）

▷ボランティア総数 223名（川辺112名、中津52名、美山59名）

ボランティアセンター関連業務内容は、次のとおり

- ▷ふれあいっこり弁当の調理配達ボランティアの調整
- ▷ふれあいきいきサロンへの参加とグループに関する調整
- ▷外出支援における運転ボランティアの調整
- ▷ボランティア保険等加入手続き
- ▷ボランティア活動団体支援・助成

社会福祉協議会における災害時の相互支援協定に基づき、6月2日に発生した梅雨前線及び台風2号の影響による大雨に係る海南市災害ボランティアセンター運営支援のために職員派遣を行った。

- ▷6月8日～10日      井口 淳      ▷7月20日～22日      上垣内大貴
- ▷6月20日      井口 淳
- ▷6月21日      上垣内大貴
- ▷6月22日      林 佳澄

1月1日に発生した能登半島地震災害に係る石川県内市町村社会福祉協議会ボランティアセンター等運営支援について、全国社会福祉協議会を介して和歌山県社会福祉協議会から応援派遣要請があり、当会からも職員派遣を行った。

- ▷令和6年2月21日（水）～27日（火） 井口 淳  
羽咋市災害ボランティアセンター

## 12. 福の市（福祉バザー）

今年度は美山地区において、美山中津地区合同バザーを開催した。住民の皆さんからたくさんの物品をご提供いただき、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアの協力により、収益金を得ることができた。収益金は地域福祉事業等にに使わせていただいた。

### 【福の市】

- ▷開催日時 令和5年12月9日（土）
- ▷開催場所 山村開発センター（美山） 大ホール
- ▷売上金 167,530円

### 【ミニバザー】

- 令和5年12月14日（木）
- 健康管理センター（中津）
- 23,200円

## 13. 「愛の日」事業

誰もが持っている温かいまごころを行動に移すきっかけづくりの日として、11月15日は「愛の日」と定めている。本会における「愛の日」事業の一環として、町内の在宅における重度の寝たきり高齢者に民生児童委員を通じプレゼント品を手渡し激励させていただいた。

- ▷対象者39名（川辺18名 中津12名 美山9名） ※前年度33名
- ※重度の寝たきり高齢者の判断として要介護度4・5の認定者とした

## 14. 善意銀行運営事業

今年度も善意銀行に町民の皆さまから寄付金を寄せていただき、地域福祉事業に有効に活用させていただいた。地域福祉活動の貴重な財源として一般会計への繰出、歩行で杖が必要な方への杖（善意の杖）の無料配布を行った。

今後も町民の皆さまから寄せられる寄付金や物品は、寄付者の意志を生かした運用に努め、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのために活用させていただきたい。

### ○善意銀行寄付金

	件数	金額	備考
香典返し	8件	340,000円	
満中陰志	30件	1,500,000円	
一般寄付	17件	618,763円	
合計	55件	2,458,763円	前年度 62件 2,885,600円

### ○善意銀行配分事業（善意の杖）

- ▷申請者数 35名（川辺18名 中津7名 美山10名）

## 15. 共同募金（赤い羽根募金）

戸別募金は、区長をはじめ各地区の協力により、今年度も県共同募金会が設定の目標額をリアすることが出来た。役場、企業、学校、保育所などから職域募金、学校募金等多くの方々からご協力をいただいた。

なお、街頭募金は10月1日 Aコープかわべ、ローソン小熊店、ふるさと産品販売所、道のホットステーション美山の里に場所をお借りし、理事と職員のみで募金活動を行った。また、11月12日開催の日高川フォレスト祭（美山地区）においても募金活動を行った。

○共同募金の実績額 1, 844, 569円 ※前年度1, 833, 986円

【内訳】

- ▷戸別募金 1, 637, 000円
- ▷街頭募金 74, 883円
- ▷職域募金 81, 892円
- ▷学校・保育所募金 50, 794円

## 16. 地域たすけあいサービス事業

他から援助を受けることが困難な世帯に対し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう社協に登録した協力員がお手伝いをする住民参加型の福祉有償サービスである。

地域で安心して暮らしていけるよう公的サービスだけではまかないきれない地域のニーズを解決するために有償の家事援助等のサービスを提供した。

核家族化が進み、価値観が多様化した現在では、昔ながらの地域の支え合い機能が低下してきている。一方で、日常生活の困りごとを何とかしたいというニーズもある。「地域たすけあいサービス」は、地域にお住まいの方の協力を得ながら、「お互いさま」の気持ちで支え・助け合える風土づくりを進めるしくみである。ひとりの人をみんなが支えあう、思いやりとやさしさを持った地域づくりをめざしたい。

※サービス利用は次のとおり ( ) 内は前年度

提供回数	延べ時間
366回 複数作業含む (278回)	282.75時間 (289時間)

- ▷利用者数 16名（川辺9名、中津4名、美山3名）
- ▷提供協力員数 14名（川辺10名、中津3名、美山1名）
- ▷件数 424件

【内訳】

- ▷住居等の清掃・整理整頓 ※粗大ごみ運搬含む 140件
- ▷調理 85件
- ▷庭等の草刈り・剪定 38件
- ▷外出介助 2件
- ▷その他 159件

## 17. ひとり親家庭新入学児童ランドセル購入助成事業

町内に住んでいる令和6年4月に小学校に入学する子どもさんがおられる児童扶養手当を受給しているひとり親家庭（母子・父子）、または両親ともおられないご家庭で、助成を希望される方にランドセル購入代金の範囲内で上限2万円を助成する事業である。

- ▷助成件数 2件

## 18. 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター関係）

町の委託により、町全域で第1層コーディネーター、旧町村単位で第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターと協働し、生活支援体制整備事業を推進するため定期的に打ち合わせ会議を行った。また、第1層協議体会議も行った。

高齢化が進み、介護を必要とする方が増える一方で、それを支える介護の担い手がなかなか増えない状況にあり、これからは、住民ひとり一人が助け合いのまちづくりをどのように進めていくか、共に考えていく必要がある。

今年度は8月18日にフォーラムを開催し、これからの地域のことを考えて頂く機会をつくった。また、サロン場に出向き、カードゲームを通じて、日頃の困りごと等を話し合う機会も作った。今後も地域住民、関係団体や関係者等の連携・協働を推進し、それぞれの地域に必要とされる助け合いシステムの創出に向けた取り組みを推進する。

### ○生活支援コーディネーターの活動状況

- ▷第1層コーディネーター 80回
- ▷第2層コーディネーター 48回
  - ▶ふれあいいいききサロンへの参加
  - ▶地域包括支援センターとの打ち合わせ会議
  - ▶協議体への参画等

### ○協議体の委員会の開催

- ▷第1層協議体 令和5年7月27日 令和6年3月18日
- ▷出席者 7名 6名

## 19. お買い物支援事業（モデル事業）

買い物に不便を感じている町内居住のひとり暮らし高齢者等を、スーパーマーケットなどに送迎し、外出や生活支援及び社会参加を支援する。当日、集まった利用者で行先を相談し、実施する。行事保険代として、1回につき利用者から300円をいただいている。

日時	地区	参加者数	行先
5月14日(日)	土居地区	5名	御坊市 ロマンシティオークワ
9月17日(日)	平地区	1名	有田川町 スーパーセンターオークワ
3月3日(日)	李・愛川地区	2名	有田川町 スーパーセンターオークワ他
3月26日(火)	大又・老星地区	参加者なし	

# 福祉サービス利用支援部門

## 1. 相談事業

### (1) ふれあい相談（人権・登記・心配ごと相談）

日常生活での心配ごとや悩みごとを相談できる相談所を開設し、相談員が適切に相談を受けた。状況に応じ専門機関に繋いだりもした。広報としては相談所開設予定表を全戸配布、開設日前日に町内放送で開設日の周知をした。困ったことがあればいつでも相談に応じる体制を取っている。

#### 《相談員体制》

民生児童委員9名、人権擁護委員3名、社協三役3名 計15名

▷心配ごと相談には民生児童委員と社協役員が相談に対応。

▷人権・登記・心配ごと相談には法務局職員、人権擁護委員、民生児童委員が相談に対応。

#### 《開設回数ならびに時間》

旧町村ごとに月1回 午後1時～3時の事前予約制（相談者があれば対応する方法）

#### 《相談件数》

9件（川辺 6件 中津 1件 美山 2件）※前年度9件

### (2) 法律相談等（弁護士による相談）

今年度も3回開設し、日常生活上での法律に関わるすべての問題に弁護士が相談に応じた。町民の相続・離婚・金銭関係・土地・交通事故・相続等の法律上の相談に弁護士が応じ、問題解決に向けてのアドバイスをして頂いた。

《相談件数》 15件（川辺7件 中津3件 美山5件）※前年度14件

### (3) 調停相談（調停委員による相談）

調停は裁判のように勝ち負けを決めるのではなく、話し合いによりお互いが合意することでもめ事の解決を図る手続きである。調停相談所を開設予定したが来談者はいなかった。

▷開設日 8月22日（川辺） 12月12日（中津） 3月12日（美山）

## 2. 福祉サービス利用援助事業

日常生活を送るうえで、自分ひとりでは判断することが難しい高齢者や障がい者の方々が安心して生活が送れるように、色々な手続きのお手伝いや日常的な金銭管理等の援助を行った。

サービスにあたっては、専門員として本会職員が担当し、生活支援員（臨時1名、非常勤2名）と情報共有しながら支援した。また、関係機関とも連携し、利用者の生活課題等に対応し、利用者が日常生活にどの程度のお金が必要かを一緒に考え、計画的にお金が使えよう支援をした。また金融機関の預貯金の預け入れや引き出し等が困難である場合には代行し、公共料金の支払いや手続き、大事な通帳や印鑑の保管等も行い利用者に寄り添った安心のできるサービスとして実施してきた。

- ▷利用者 6名（高齢者2名 知的障がい者1名 精神障がい者2名 その他1名）
- ▷サービス提供回数（訪問・電話等） 100回
- ▷新規契約 0件
- ▷専門員ならびに生活支援員研修 11回（県・県社協・郡広域主催）

### 3. 資金貸付事業

#### （1）生活福祉資金貸付事業（本則） 【県社協貸付】

この事業は、低所得世帯への資金の貸付と相談支援を行う制度である。また、その中でも障がい者世帯や高齢者世帯のみが利用できるものもある。

- ▷新規の貸付 2件
- ▷現貸付者数 7件

#### （2）生活福祉資金特例貸付事業（コロナ資金） 【県社協貸付】

令和5年1月から緊急小口資金・総合支援資金の償還が始まり、貸付世帯への償還支援を行った。毎月、自立相談支援機関の職員と共に個別訪問をし、生活状況等を聞き取り、生活困窮者や金銭管理に問題を抱える人等へのフォローアップを行った。

##### ▷令和5年度償還免除件数

- ▶緊急小口資金 5件 900,040円
- ▶総合支援資金 15件 8,055,000円

#### （3）生活資金特別貸付制度【町社協の資金貸付事業】

この貸付資金は低所得者世帯に対し必要な援助を行い、安定した生活を営むことが出来るようにすることを目的とした無利子の貸付制度である。

今後も貸付相談があれば、世帯の実情、家計収支、将来の見通し、償還計画等を詳細確認しながら、単に貸付するだけでなく、社協の相談機能を活かし背景にある問題を解決していきながら関係機関および民生児童委員との連携を図り自立に向けた相談援助を進めていきたい。

- ▷貸付中 6名（令和6年3月末）
- ▷新規貸付 5件⇒3万円以下
- ▷償還完了 1件

## 在宅福祉サービス部門

### 1. 訪問介護事業（高齢者・障がい児者）

介護保険法ならびに障害者総合支援法に基づき、要介護・要支援者へホームヘルパーによる訪問介護を提供し、在宅生活の支援を行った。

訪問介護員（ホームヘルパー）が、介護者（要介護者・要支援者・障がい者）の自宅を訪問し、利用者が自宅にいても自立した日常生活が送れるように食事・入浴・排泄などの身体介護をはじめ、掃除・洗濯・調理などの家事面における生活援助などの支援を行った。

介護職員の処遇改善や職場環境の改善に向けた取り組みを推進するとともに、介護職員の質を向上し、より良いサービスを提供できるように努めたい。

◇利用者等状況

（ ）内は前年度

	介護保険		障害者総合支援	稼働ヘルパー数
	要介護	要支援		
4月	26名 (27名)	16名 (18名)	6名 (5名)	15名 (13名)
5月	24名 (26名)	18名 (18名)	6名 (5名)	14名 (14名)
6月	21名 (27名)	19名 (20名)	6名 (5名)	14名 (14名)
7月	24名 (30名)	19名 (19名)	6名 (5名)	15名 (14名)
8月	25名 (30名)	18名 (19名)	5名 (5名)	14名 (15名)
9月	23名 (29名)	16名 (20名)	6名 (5名)	14名 (15名)
10月	24名 (24名)	18名 (19名)	6名 (5名)	14名 (15名)
11月	23名 (25名)	18名 (18名)	6名 (5名)	14名 (15名)
12月	24名 (27名)	20名 (15名)	6名 (5名)	14名 (15名)
1月	27名 (26名)	20名 (15名)	6名 (5名)	14名 (15名)
2月	30名 (26名)	17名 (15名)	6名 (5名)	14名 (15名)
3月	28名 (29名)	20名 (16名)	6名 (5名)	14名 (15名)
合計	299名 (326名)	219名 (212名)	71名 (60名)	平均14.2名 (14.5名)

### 2. 訪問入浴介護事業（高齢者・障がい者）

介護認定を受けた方で、自力での入浴が困難な方や様々な理由によりデイサービスなど福祉サービスの利用が困難な方を対象に、身体の清潔を保持、心身機能の維持を図るため、自宅を訪問し入浴サービスを提供した。訪問入浴を行う事業者は町内では社協だけである。

合併前から使用していた入浴車（大型）の老朽化に伴い、数年前から、読売テレビ24時間テレビチャリティー事務局に車の寄贈依頼をしていた。今年度、当会に寄贈して頂けることが決定し、2月27日に贈呈式が執り行われた。

## ◇利用者等状況

( ) 内は前年度

月	利用者数	訪問回数	従事したスタッフ数
4月	5名(6名)	23回(22回)	4名
5月	7名(6名)	26回(21回)	4名
6月	6名(4名)	22回(22回)	4名
7月	5名(5名)	18回(25回)	4名
8月	4名(6名)	16回(24回)	4名
9月	5名(5名)	21回(21回)	4名
10月	5名(3名)	20回(17回)	4名
11月	4名(4名)	18回(18回)	4名
12月	5名(5名)	11回(23回)	4名
1月	5名(5名)	13回(16回)	4名
2月	5名(5名)	18回(23回)	4名
3月	4名(5名)	14回(26回)	4名
合計	60名(59名)	220回(258回)	

## 3. 居宅介護支援事業（高齢者）

介護保険法に基づき、要介護・要支援認定者にケアマネジャーがケアプラン作成し、介護保険施設、医療機関との連絡調整、また介護に関する相談支援などを行った。介護保険サービス等の内容について、ご本人や家族と十分に話し合ったうえで、サービス計画の作成やサービスの利用、その他介護に関するいろいろな事柄について支援を行った。

## ◇利用状況

( ) 内は前年度

## ▶居宅介護支援事業

月	利用者数	
	要介護	要支援
4月	37名(34名)	24名(16名)
5月	36名(37名)	26名(17名)
6月	36名(32名)	23名(22名)
7月	35名(36名)	23名(25名)
8月	34名(36名)	25名(24名)
9月	38名(37名)	20名(25名)
10月	38名(33名)	21名(26名)
11月	39名(34名)	23名(26名)
12月	39名(36名)	24名(25名)
1月	38名(32名)	22名(23名)
2月	38名(33名)	21名(22名)
3月	35名(33名)	23名(23名)
合計	443名(413名)	275名(274名)

## ▶認定調査

月	件数
4月	6件(6件)
5月	5件(2件)
6月	3件(6件)
7月	6件(8件)
8月	2件(6件)
9月	1件(6件)
10月	5件(3件)
11月	2件(4件)
12月	3件(5件)
1月	7件(4件)
2月	2件(7件)
3月	2件(6件)
合計	44件(63件)

#### 4. 福祉用具無料貸出等

在宅の高齢者および障がい者等に対し、日常生活を援助し自立支援を図ることを目的に、社協が所有するベッドや車椅子を貸出した。介護保険の介護認定を受けておられない方や、介護保険認定までのつなぎ期間の方、または入院中の外泊などの場合に一時的に利用された。

介護用ベッドは介護保険制度の福祉用具レンタルの非該当者で且つ所得税非課税世帯への貸出とし、一方、車椅子は介護保険制度のレンタル等に関係なく必要であれば随時貸出をし、利用者や家族には好評であった。

介護認定されている方には、出来るだけ介護保険制度のレンタルを利用していただき、社協の貸出はあくまで認定されるまでのつなぎや傷病等による方への貸出としている。(介護保険制度優先であくまで補完的な役割)

##### ▶保有台数と利用状況

	保有台数			貸出利用人数(延べ)		
	川辺	中津	美山	川辺	中津	美山
介護用ベッド	0台	6台	5台	0件	0件	3件
エアーマット	0台	0台	2台	0件	0件	0件
車椅子	16台	2台	4台	58件	2件	2件
歩行器	1台	0台	0台	0件	0件	0件
計	17台	8台	11台	58件	2件	5件

#### 5. 家族介護用品(紙おむつ等)支給等事業

おおむね65歳以上で寝たきり状態にある在宅の高齢者を介護する家族等に紙おむつを支給した。在宅介護において紙おむつを使用されている方は、毎日の必需品であるので、この事業を利用する方も多く、所得によっては費用負担が無料となるので経済的な負担も軽い。

この事業は町の委託を受け実施しており、介護者家族の経済的負担の軽減はもとより、日常的におむつ等を必要とする高齢者等の在宅生活を支えている。

また、町内で紙おむつなどを販売している店も少ないので、遠方に買いに行かなくても、最寄りの社協で購入できるので介護者には好評である。なお、購入するのに交通手段がない方には自宅までの配達も行った。

##### ◇利用状況・実績

	無料(町委託)	全額負担	障がい者(町委託)
パンツタイプ	352袋(308袋)	161袋(165袋)	34袋(39袋)
テープタイプ	135袋(96袋)	21袋(18袋)	6袋(12袋)
パットタイプ	666袋(687袋)	237袋(240袋)	64袋(64袋)
フラットタイプ	84袋(72袋)	33袋(5袋)	67袋(66袋)
計	1,237袋(1163袋)	452袋(428袋)	171袋(181袋)

##### ▶利用者内訳

	日高川町			
	川辺	中津	美山	
無料	40名(34名)	15名	16名	9名
全額負担	36名(34名)	14名	6名	16名
身体障がい者	5名(3名)	5名	0名	0名
計	81名(71名)	34名	22名	25名

## その他

### 1. 防災グッズ（非常用保存セット）の配布

在宅で生活されている、満75才以上になられた一人暮らし高齢者に、担当民生委員さんから防災グッズをプレゼントした。災害時等への備えと防災意識の動機づけをしてもらうことを目的に毎年配布している。

○ 配布数 44名（川辺 23名 中津 10名 美山11名）※前年度32名

### 2. 社会福祉協議会会長感謝状の贈呈について

当会の活動に長年にわたり、ご尽力賜った方々に理事会の席上、会長より感謝状を贈呈した。

○表彰日 令和5年6月8日（木）

○場 所 日高川交流センター

○表彰者

- ▷原山和也様（蛇尾） 合併前より長きにわたり、福祉委員として活動された。
- ▷森多カ子様（船津） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして31年間活動された。
- ▷樫合征子様（高津尾） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして23年間活動され、いきいきサロン代表者として長きにわたり活動された。
- ▷谷口誠子様（姉子） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして24年間活動され、長きにわたりいきいきサロンでもご活動された。
- ▷玉置絹子様（皆瀬） 16年間の長きにわたり、当会理事として活動された。
- ▷朝間つる代様（上越方） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして10年間活動された。
- ▷児玉凱子様（皆瀬） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして20年間活動された。